

第 67 回日本 PTA 全国研究大会兵庫大会に参加して
スローガン つなげよう「いのち」のバトン 次世代を生き抜く子どもたちへ
~地域とともに育む力 兵庫から~

富士市 PTA 連絡協議会
副会長 渡邊寛子

令和元年 8 月 23 日(金)・24 日(土)の 2 日間で、第 67 回日本 PTA 全国研究大会兵庫大会に参加させていただきました。

今年は、南北に日本海から瀬戸内海、淡路島を介して太平洋へと続く兵庫県で行われました。兵庫県といえば、1995 年阪神・淡路大震災で多くの尊い「いのち」が奪われ、大きな被害が出たところです。あれから 20 有余年、神戸市などの街並みを見ると完全なる復興を遂げているようにも見えます。が、兵庫県ではその時の経験を風化させる事なく、子どもたちの大切な「いのち」を守るため、家庭教育の充実とともに地域コミュニティの活性化、地域住民(C:地域コミュニティ)の参画と協働による「PTCA 活動」を展開しています。家庭・学校・地域が連携を強め「いのち」の大切さを、保護者自らが再確認し、次世代を担う子どもたちへつなげていくという活動をしています。

1 日目は、特別第 1 分科会「いじめ」なんてかっこわるい!~我が子を当事者にさせないために~に参加しました。基調講演 上越教育大学大学院教育研究科高橋知己先生のお話を聞いた後、数名のグループを作り、いじめの未然防止、早期発見がしにくい要因についてのディスカッションをしました。要因としては、生徒の要因、(学校)教師の要因、発見方法の不備の 3 つが考えられました。時には 1 つの理由だけでなく、複合的な理由によりいじめが見えにくくなっていること、周囲が気づきにくくなっていることが考えられました。だからこそ、大人が早期に気づいてあげる ことが必要であり、あらゆるチャンネルからいじめを発見し、社会ぐるみで守る事が重要だという事を改めて参加者で再確認しました。

2 日目は、全体会記念講演 メンタリスト DaiGo 氏の「子育ては、心理学でラクになる」です。最近の研究結果について大変興味深かったのは、親の育て方で子供の性格は変わらない。影響を受けるのはわずか 6%、ほぼ子供の性格は遺伝 50%、友人 44%で決まるということでした。そして、子育てで決して、親がしてはいけない①虐待はトラウマを生む②体罰は暴力性を加速させる③回りくどい怒り方による心理コントロールはコミュニケーションが苦手になるという 3 点でした。DaiGo 氏自身が経験したいじめについては、周りが変わってくれる事をひたすら待っていたが自分が変わったら世界が変わりいじめられなくなったということを語ってくださいました。

その他、習慣がつくにはラクできるかどうか、20 秒早く手がつけられるようにすると良い、逆に 20 秒手間がかかるようにすると禁煙やダイエットに役立つという事でした。最

後に PTA の活動をラクにするには、必要がないものを徹底的に削ることで新しいものが生まれ、今までとは違うことをクリエイティブにやっていくことで成果も上がるという事でした。これは子育てにも応用出来ることではないでしょうか。

この2日間で得たことを自らの子育てにはもちろん、今後の PTA 活動にも生かしていきたいと思います。ありがとうございました。